平　成　29　年　度　　教　育　研　究　業　績　書

氏名　　今津節生

最終学歴	青山学院大学大学院博士後期課程	
取得学位	学術博士	
所属学会	日本文化財科学会、文化財保存修復学会、東アジア文化遺産保存学会、ICOM-WOAM、日本考古学協会	
専門分野	保存科学、文化財科学	
研究課題	3D計測技術を用いた文化財の調査研究、遺跡から発見された遺物の保存科学的研究など	
授業科目	学部担当科目	・文化財修復学 ・保存科学実習Ⅲ・Ⅴ ・保存科学演習Ⅲ・Ⅳ ・保存科学購読Ⅰ ・保存科学特殊講義（三） ・保存科学概論Ⅰ
	大学院修士課程担当科目（博士前期課程含）	・保存修復学演習（一）（二）
	大学院博士後期課程担当科目	・保存修復学特殊研究Ⅰ・Ⅱ
	通信教育部担当科目	・文化財学演習Ⅲ
【研究上の特記事項】	・科学研究費基盤研究（A）『X線CTを核にした3Dデータの活用に基づく文化財の新研究基盤創設』 ・挑戦的研究（萌芽）『沈没船の保存・展示のための革新的技術開発』 ・特別研究員奨励費　外国人特別研究員　『モンゴル国出土木製遺物の科学的保存処理研究』	
【教育上の特記事項】	・学生の学外研修を企画している。昨年度に引き続き、本年度も長崎県松浦市と協力して水中考古学セミナーを開催する予定	
【社会的活動】	・東アジア文化遺産保存学会（副会長） ・日本文化財科学会（副会長） ・九州国立博物館客員研究員 ・世界遺産三重津海軍所跡保存活用委員会委員（佐賀市） ・鷹島海底遺跡調査指導委員会委員（長崎県松浦市） ・土佐藩主山内家墓所整備活用委員会委員（高知市）	
【学内活動】 （学内職歴を含む）	・総合研究所委員会委員、国際交流委員会委員	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書､学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
（著書）				
①『阿修羅像を未来へ受け渡すために』	共	2017.9.23	興福寺中金堂再建記念・興福寺シンポジウム	X線CTスキャンによる阿修羅像の調査
②『水中遺跡の歴史学』	共	2018.3.18	山川出版社	「水中遺跡の調査・保存の技術的課題」
③				
（学術論文）				
①「硫黄同位体比法から見た大和の古墳出土朱の産地推定」		2018.3.31	黒塚古墳発掘報告書	朱の産地推定
②「X線CTを用いた土製鋳型の構造解析」		1905年7月	『駒沢考古』第42号	CTによる弥生時代中期土製鋳型の解析
③				
（学会発表）				
①”Clarification of the Conservation and Restoration History of Cultural Property Using X-ray CT”	単	2017.7.24	Symposium of Conservation of Cultural Heritage in East Asia in Shanghai	X線CTスキャンによる文化財の調査
②「X線CTデータから見た興福寺阿修羅像の修理痕跡」	共	2017.7.1	『文化財保存修復学会第34回大会研究発表要旨集』	X線CTスキャンによる阿修羅像の調査
③				
（その他）				
①「CTスキャンで探る阿修羅像の健康診断	単	2018.3.4	阿修羅像　天平の心と技を未来へ』	X線CTスキャンによる阿修羅像の調査
②				
③				